

CS11 GC

土工用振動ローラ



※カタログ写真はオプション品を含む場合がございます

運転質量	11,182 kg
エンジン定格出力 (グロス)	90 kW
エンジン定格出力 (ネット)	83.7 kW
起振力	250 kN

日本キャタピラー 

新しい時代の、新しい価値基準。

土工用振動ローラにGCモデル登場



CS11 GC

Cat® C3.6ディーゼルエンジン搭載



スロットルスイッチは高・低の2段階で切替が可能

Cat® C3.6ディーゼルエンジンはキャタピラー社製の建設機械で幅広く搭載され、多くの実績と信頼を得ている高出力、高効率のエンジンで、高いパフォーマンスを発揮します

また、排ガス後処理装置として、尿素SCRシステムを採用し、特定特殊自動車排出ガス2014年基準をクリアしています



特定特殊自動車排出ガス
2014年基準適合車



国土交通省
低騒音型建設機械

パフォーマンス

Cat® ポッド型 振動システム

信頼のCat® ポッド型振動システムを搭載し、十分な転圧能力を備えています



オイルで満たされたポッドの中を偏心ウエイトが回転し振動を発生させます

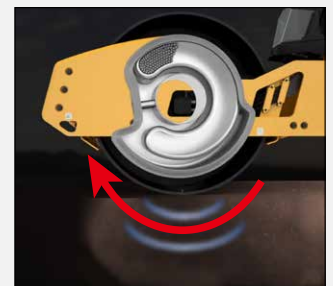
偏心ウエイトの回転方向によって偏心ウエイトに内蔵されたスチールショットが移動し、遠心力の強弱をつけています



振動増幅コントロールスイッチ



高振幅モード



低振幅モード

高・低2段階があり、ダッシュボードのスイッチで簡単に切替われます。また、Cat® ポッド型振動システムのオイル交換間隔は3年または3,000時間と交換間隔が長くなっています

最大起振力 **250 kN**

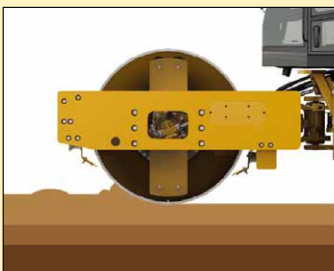
静線圧 **28.5 kg/cm**

MDP (マシンドライブパワー)

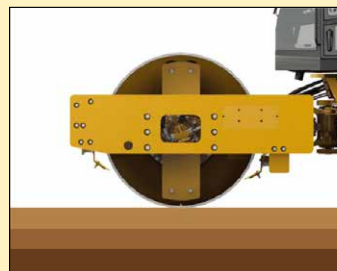
オプション

ドラムの転がり抵抗を測定して硬度を検出します **Cat® オリジナル技術**

ドラムが推進する時に、転がり抵抗が発生しますが、ドラムがその転がり抵抗を抑えて推進する力を測定しているため、これまでの加速度計による硬度検出に比べて、粘性土の高い土質にも対応することができるという特徴があります



柔らかい足場で推進する場合、より多くのエネルギーが必要



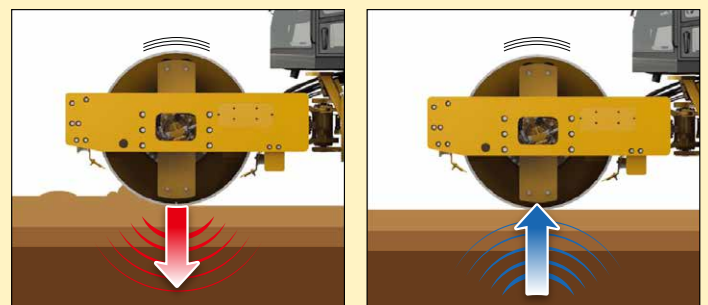
硬い足場で推進する場合、より少ないエネルギーで済む

MDPは転がり抵抗を抑えるのに必要なエネルギーを測定します
より明確で直接的に土壌硬度を測定します

0~150のMDP値で表示

CMV (コンパクションメータ)

オプション



加速度計により地盤の硬度を測定し、読み取り値をオペレータに提供します

	マシンドライブパワー (MDP)	コンパクションメータ (CMV)
測定ベース	転がり抵抗/エネルギー	加速度計
測定用振動システム	作業時または停止時	作業時のみ
土壌タイプ	粒状または粘性土	粒状のみ
装備可能ドラム	スムーズドラム バッドフッド、シエルキット	スムーズドラムのみ
測定深さ*	30~60cm	1~1.2m

*測定深さは土壌の種類/状態によって異なります

オペータ環境

ROPS / FOPS キャブ 万が一の転倒事故や落下物からオペータを保護します

ROPS ISO3471 : 2008
FOPS ISO3449 : 2005 Level II



角度のついたラダー、手すりにより3点支持にて安全にキャブに乗降できます



エアサスペンションシート標準装備

多くの箇所を調節でき、オペータに最適なポジションを提供します



ステアリングコラム調整にて、オペータの最適の角度にハンドルを調整することができます



巻取式のシートベルトを装備しており、オレンジカラーなので、オペータの装着状況がひと目で認識できます



後方カメラ

高解像度の後方カメラを標準装備し、キャブ内のモニタに映し出します

ガイド線付きなので距離感が把握しやすく、後方の安全を万全にします



走行コントローラ

パーキング

非常停止ノブ

ブレーキスイッチ

安全装置

パーキングブレーキスイッチや、万が一の場合、エンジンをシャットダウンさせて非常停止させることができるノブを配置するなど、セーフティファーストに基づいた設計となっています



充実の装備品

エアコン、AM/FMラジオ (Bluetooth® 対応) などの装備品を備えており、オペータは快適な環境で作業を行うことができます

また、これらは、キャブ内正面上に集中配置されており、着座したまま手が届きます

メンテナンス



チルトアップ式フードで イージーメンテナンスを実現

サービスポイントへのアクセスが簡単で
グラウンドレベルで作業を行うことができます

- エンジンオイル交換 **500時間**
- エンジンオイルフィルタ交換 **500時間**
- ハイドロリックオイル交換 **3,000時間**



日常点検ポイントは右側に集中配置



メンテナンスフリーバッテリー



メンテナンスフリーヒッチ

			標準仕様	MDP・CMV仕様
パワートレイン	エンジン	オフロード2014年基準適合	●	●
	走行ポンプ		●	●
	作動油	Cat® HYDO™ Advanced 10	●	●
		バイオオイル	○	○
オペレータ環境	ROPS/FOPSキャブ		●	●
	キャブ ヒータ&エアコン		●	●
	シート	ビニールシート	○	○
		エアサスペンションシート(布/着座感知なし)	●	●
		エアサスペンションシート(布/着座感知付き)	○	○
	シートベルト(巻取式/76mm幅)		●	●
	AM/FMラジオ		●	●
	サンバイザ(フロント)		●	●
リアサンスクリーン(キャブ後方窓)		○	○	
テクノロジー	走行速度センサー		●	×
	MDP(マシンドライブパワー)		×	●
	CMV(コンパクションメーター)		×	●
タイヤ	フローテーションタイヤ(12PR)		●	●
	トラクションタイヤ(14PR)		○	○
ドラム	振動数センサー		●	●
	スムーズドラム(鉄鋼スクレーバ(ドラム前後部)付)		●	●
	パッドフットシェル(丸型)付		○	○
	パッドフットシェル(角型)付		○	○
ガード	FOGSガード		○	○
	トランスミッションガード		●	●
ライト	ハロゲンライト		●	●
	LEDライト		○	○
その他	増量ウエイト		○	○
	黄色回転灯(ストロボライト)		○	○
	後方カメラ		●	●

パッドフットシェルキット

オプション

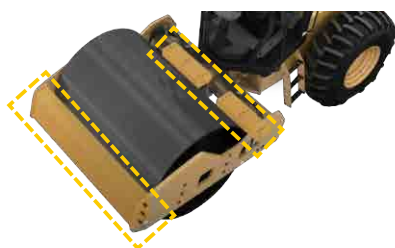


パッドフットは粘土や直物腐植土のような粘性土の転圧に適しています

- 円形と角型デザインの2種類をご用意しております
- 円形は貫通が最も深く、地盤底面からの締固めに適します
- 角型は貫通力は円形に比較し劣りますが、締固め表面のシーリングに良いといった特徴があります

増量ウエイト

オプション



リアサンスクリーン

オプション



タイヤ



フローテーションタイヤ



オプション

トラクションタイヤ(12PR)



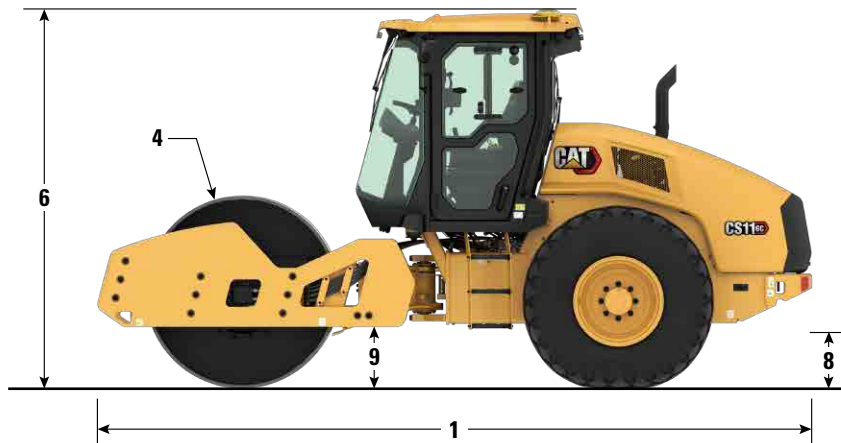
仕様値

質量	運転質量	(kg)	11,182	
	前輪荷重	(kg)	6,090	
	静線圧	(kg/cm)	28.5	
エンジン	名称	Cat® C3.6ディーゼルエンジン		
	形式	4サイクル直列直噴式		
	総行程容積	(ℓ)	3.6	
	定格出力	グロス ISO14936 ※1	(kW/min ⁻¹)	90/2,200
		ネット ISO9249 ※2	(kW/min ⁻¹)	83.7/2,200
シリンダー数－内径×行程	(mm)	4-98×120		
タイヤ	タイヤサイズ	23.1-26 12PR		
走行性能	走行速度(低/高)	(km/h)	5.8/11	
	登坂能力	(%)	55	
ステアリング	ステアリング方式	油圧式		
	アーティキュレーション角度	(度)	34	
振動システム	振動数(高/低)	(Hz)	30.0/33.0	
	振幅(高/低)	(mm)	2.0/1.0	
	起振力(高/低)	(kN)	250/149	
容量	燃料タンク	(ℓ)	213	
	尿素水 ※交換容量	(ℓ)	19	

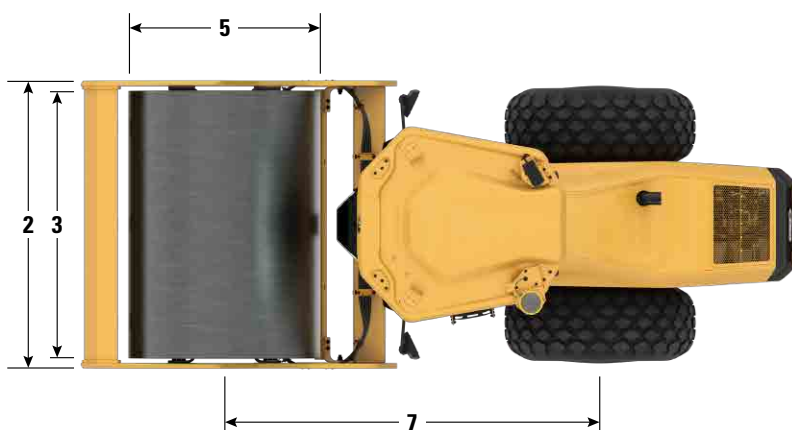
※1 定格出力(グロス)は、ファン回転数が最大の状態で作られたものです

※2 定格出力(ネット)は、ファン(最高速度で回転)、エアクリーナ、クリーンエミッションモジュールおよびオルタネータが装備された状態で、エンジンフライホイール部で得られる出力です

寸法/作業範囲



1	全長	(mm)	5,700
2	全幅	(mm)	2,300
3	ドラム幅	(mm)	2,134
4	ドラムシェル厚	(mm)	25
5	ドラム直径	(mm)	1,535
6	全高	(mm)	3,000
7	ホイールベース	(mm)	3,000
8	最低地上高	(mm)	518
9	カーブクリアランス	(mm)	492
	旋回半径(内側)	(mm)	3,860





www.nipponcat.co.jp

日本キャタピラー合同会社

(カタログお問合せ先)

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー

TEL. 03-5334-5658 FAX. 03-5334-5660

(HP アドレス) <https://www.nipponcat.co.jp>

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を設置させてください。掲載写真は標準仕様と一部異なる場合があります。仕様は予告なく変更することがあります。

© 2021 Caterpillar. All Rights Reserved.
CAT®, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCat "Modern Hex" のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください

お問い合わせ先

※本カタログ内に使用されている写真は特別装備品を含みます

M-ECS11GC-N01-01